

# 金沢市 ものづくり戦略2015

改定版 概要版

金沢市  
令和3年3月

## 1 金沢市ものづくり戦略 2015 改定の目的

平成 26(2014)年度で計画期間が満了する『金沢市ものづくり戦略』に続くものとして、今後 10 年間を見据え、本市ものづくり産業のさらなる振興をめざし、新たな将来像と行動計画を示す『金沢市ものづくり戦略 2015』を策定しました。

しかしながら、平成 27(2015)年 3 月に本戦略を策定後、AI、IoT など技術革新の活用による第 4 次産業革命への対応や働き方改革の推進のほか、米中貿易摩擦や自然災害の多発化、さらには新型コロナウイルス感染拡大等、製造業を取り巻く環境は大きく変化してきました。

本市ではこのような状況を踏まえ、地域経済の担い手である中小企業を中心としたものづくり産業を振興するため、『金沢市ものづくり戦略 2015』を改定し、本戦略を推進することにより、都市像である『世界の交流拠点都市金沢』を実現し、地域経済の活性化を図ることとしたものです。

## 2 対象とする産業

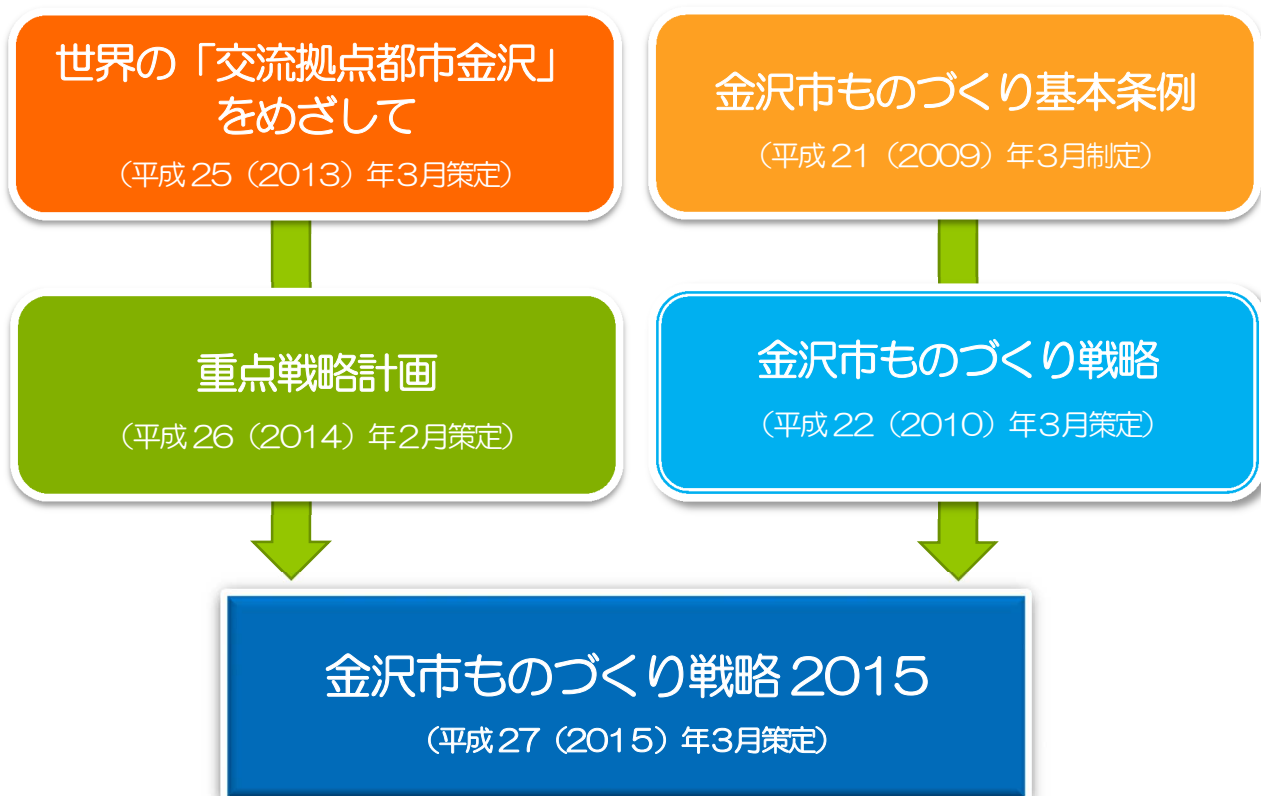
製造業、情報通信・映像・デザイン産業とします。

## 3 計画期間

平成 27(2015)年度から令和 6(2024)年度までの 10 年間とします。

なお、社会経済情勢の変化等に対応するため、令和 2(2020)年度に改定を実施しました。

## 4 本市の上位計画と金沢市ものづくり戦略 2015 の位置付け



## 5 本市ものづくり産業の将来像

本市のものづくり産業は、工芸品等の製造技術を背景として栄えた手工業をベースに、繊維産業や繊維機械産業へと展開し、機械・金属産業や印刷産業など、さまざまな産業へと広がる「内発的發展」を遂げてきました。その中でニッチトップ企業をはじめとする「独創性」を持つ企業が次々と現れる一方、特定の産業に過度に依存することのない「多様性」をもつ産業構造が形成されてきました。今後のものづくり産業の将来を見据えた場合、その歴史であり特徴でもある「独創性」や「多様性」を活かしていかなければならず、これは『金沢市ものづくり基本条例』並びに『金沢市ものづくり戦略』でも掲げてきた目指す姿（将来像）でした。しかしながら、ものづくり戦略2015の策定以降も、生産年齢人口の減少や国内市場の縮小、グローバル化の進展による地域間・産地間競争の激化など、社会経済情勢が変化しており、地域経済・雇用を支える中小企業者に大きな影響を及ぼしています。また、第4次産業革命の進展や新たな日常の定着・加速に向けたデジタル技術の活用による産業構造の変革を進めるデジタルトランスフォーメーション（DX）、働き方改革の推進など、さまざまな課題への対応も求められています。このため、北陸新幹線の延伸や金沢港クルーズターミナルのオープン等を契機に、まちの拠点性をさらに向上させるとともに、引き続き国内外から人・モノ・情報の集積・交流を図り、新たな視点・発想により新製品・新技術・新産業の創造につなげ、需要の新規開拓と地域経済の活性化を図っていくことが必要です。

そこで、改定後においても、『金沢市ものづくり戦略』の趣旨を継承しつつ、『世界の交流拠点都市金沢』を実現し、地域経済の活性化を図るため、以下の将来像は継続することとします。

### <将来像>

独創性と多様性に富んだものづくり産業の振興による創造産業都市・金沢の実現  
～人・モノ・情報の集積・交流による地域経済の活性化を目指して～

## 6 ものづくり戦略2015改定版の基本方針と施策の方向性

### <基本方針1>

### 次代を担う産業人材の確保・育成

小中学生からものづくりの重要性や地元企業の魅力について認識を高めるとともに、プログラミング技術を習得できる講座を開催するほか、企業との交流機会の充実を図ることで、次代を担う人材の確保をめざします。また、業界・企業における働き手のスキルアップや技能継承への取り組みを支援するとともに、外部人材の活用や副業、兼業などを含めた働き方改革を推進し、多様な人材の活躍促進とニューノーマルへの対応に向けた環境づくりに取り組みます。

#### 施策の方向性1 ものづくり人材の育成と交流の促進

ものづくり産業の担い手の発掘・育成と地元から輩出される人材の雇用につなげていくとともに、まちの魅力や拠点性を活かした人材の集積を図っていきます。

#### 施策の方向性2 働き手のスキルアップと技能継承への支援

技能継承や後継者養成、働き手のスキルアップに向けた取り組みを支援するとともに、各支援機関とも連携して、企業のニーズに合った研修機会の拡大を図り、担い手の育成に取り組んでいきます。

#### 施策の方向性3 多様な人材の活躍促進

女性や高齢者、外国人など多様な人材がその能力を存分に発揮し活躍できるようにするため、働き方改革に取り組む企業への支援や金沢版働き方改革の普及啓発を図っていきます。



## <基本方針2>

# 事業基盤の強化と企業立地の促進

経営基盤の強化を図るため、生産性向上のための設備投資を支援するとともに、支援機関、金融機関、大学等と連携した専門家による相談体制を強化します。また、金沢市工業団地連絡協議会等加盟企業の連携強化と工業団地の活性化を促進するとともに、サプライチェーンの強靱化による国内拠点整備や生産性向上・省電力化をめざす設備投資意欲が高い中、市内外からの企業集積を図り、ものづくり産業の発展と高度化を推進します。

### 施策の方向性1 生産性の向上に向けた環境整備と経営力の強化

先端設備の導入等により生産性向上を図る企業の取り組みを支援するとともに、既存企業のイノベーションの促進など経営力強化につながるセミナーの開催や専門家による相談体制の充実により、企業の経営基盤の強化を図っていきます。また、企業の事業継続計画(BCP)などの策定を促していきます。

### 施策の方向性2 企業間ネットワークの強化

ものづくり企業の競争力強化に向けて、企業間の連携を促進し、それぞれが有する技術やノウハウ等の経営資源を活かして、時代の変化に対応した新製品・新技術の開発や新事業展開等を促していきます。また、市内の10の工業団地・組合で構成する金沢市工業団地連絡協議会の組織力を効果的に発揮し、各工業団地の活性化を図っていきます。

### 施策の方向性3 企業誘致の促進

金沢テクノパークには高度技術産業や試験研究開発機関など付加価値の高い都市型産業等を誘致するとともに、安原異業種工業団地やいなほ工業団地の拡張整備を進め、企業集積を図り、本市ものづくり産業の高度化及び規模拡大を図っていきます。

## <基本方針3>

# 新産業の創出と起業支援の強化

第4次産業革命の進展に伴い、企業のデジタル人材の育成やICT関連技術の活用を促し、デジタルトランスフォーメーションの推進を支援します。また、金沢未来のまち創造館(価値創造拠点施設)を整備し、地場企業やクリエイター、起業家等、異業種間の積極的な交流によりスタートアップの輩出と最先端技術を活用したビジネスの創出を図るとともに、若年層からの起業家意識の醸成や起業支援の充実を図り、社会経済情勢の変化に対応した新産業、新事業の創出をめざします。

### 施策の方向性1 デジタル人材の育成など第4次産業革命の対応への支援

デジタル人材の育成など市内企業における第4次産業革命に対応した環境の整備を支援するとともに、デジタル技術の活用によってビジネスモデルを変革し、自社の競争力の維持・強化をめざす企業のデジタルトランスフォーメーションの推進に向けた取り組みを促していきます。

### 施策の方向性2 金沢未来のまち創造館(価値創造拠点施設)での多様な主体による活動の推進

最先端技術を活用した新たなビジネス、金沢の個性である食や工芸の付加価値の創出、独創的で卓越した知識・技能を持つ子どもの育成をめざして金沢未来のまち創造館を整備し、共創・成長するコミュニティの形成を図るとともに、新たな産業の創出と未来で活躍する人材の輩出を図っていきます。

### 施策の方向性3 起業家精神の醸成と起業支援

起業家のさまざまな課題を解決するための支援の充実、金沢で起業することの魅力の発信等、起業気運の醸成と次世代で活躍する起業家の育成を図り、地域経済の活性化をめざしていきます。

## <基本方針4>

# 新製品・新技術の開発と成長分野への展開支援

個々の企業の技術力を磨き、産業全体の厚みを増していくため、ニューノーマルへの対応など、意欲ある企業の新製品・新技術の開発の取り組みを積極的に支援します。また、集積する高等教育機関や異業種等との連携により、成長分野における研究や企業間連携による市場のニーズに沿った付加価値の高い製品の開発を促進し、地域経済の牽引役を担う企業の創出を図ります。

### 施策の方向性1 新製品・新技術開発の支援充実

SDGsの推進にもつながる環境分野や、今後も成長が見込まれる福祉、医療分野のほか、AI、IoTをはじめとするデジタル技術を活用した製品開発などについて、高等教育機関等と連携したセミナーを開催するとともに支援制度の充実を図り、企業の技術力の向上だけでなく産業全体の厚みを増すことにつなげ、本市ものづくり産業の高度化を図っていきます。

### 施策の方向性2 市場のニーズに沿った付加価値の高い製品開発

自社の技術を活かした新製品の開発や、農産物・水産物といった地域素材を活用した商品開発など、企業や地域の特性を活かした開発・改良や市場ニーズの把握・分析、データの利活用など専門家によるアドバイスの実施を通じて、金沢発の優れた魅力ある付加価値の高い製品開発を推進していきます。

### 施策の方向性3 産学連携や異業種連携の促進

ものづくり企業の技術力と高等教育機関のシーズとニーズとを結びつける機会を創出するなど、付加価値の高い製品や技術の開発を支援するとともに、異業種企業間の協力関係を構築することで、企業の相互補完や新分野進出などによる独創性や多様性に富んだ製品開発を支援していきます。

## <基本方針5>

# 販路開拓と海外展開支援

国内人口の減少に伴う国内需要の縮小や生活様式の変化に伴う多様なニーズに対応するべく、海外市場も視野にグローバル需要の獲得を図るため、金沢が持つブランド力を活かし、市内企業の高い技術力や金沢発の製品を発信するほか、自社製品の販路を国内外に拡大していくための見本市出展や、オンラインなどを活用した多様な販路開拓を支援します。

### 施策の方向性1 金沢のブランド力と高い技術力を活かした企業・製品の発信

「金沢」がもつブランド力を活かしながら、ニッチトップ企業などが持つ高い技術力、市が認定した市内事業者の優れた新製品・新技術などを国内外に広く発信し、独創性と多様性に富んだ本市産業のPRと企業の成長を促していきます。

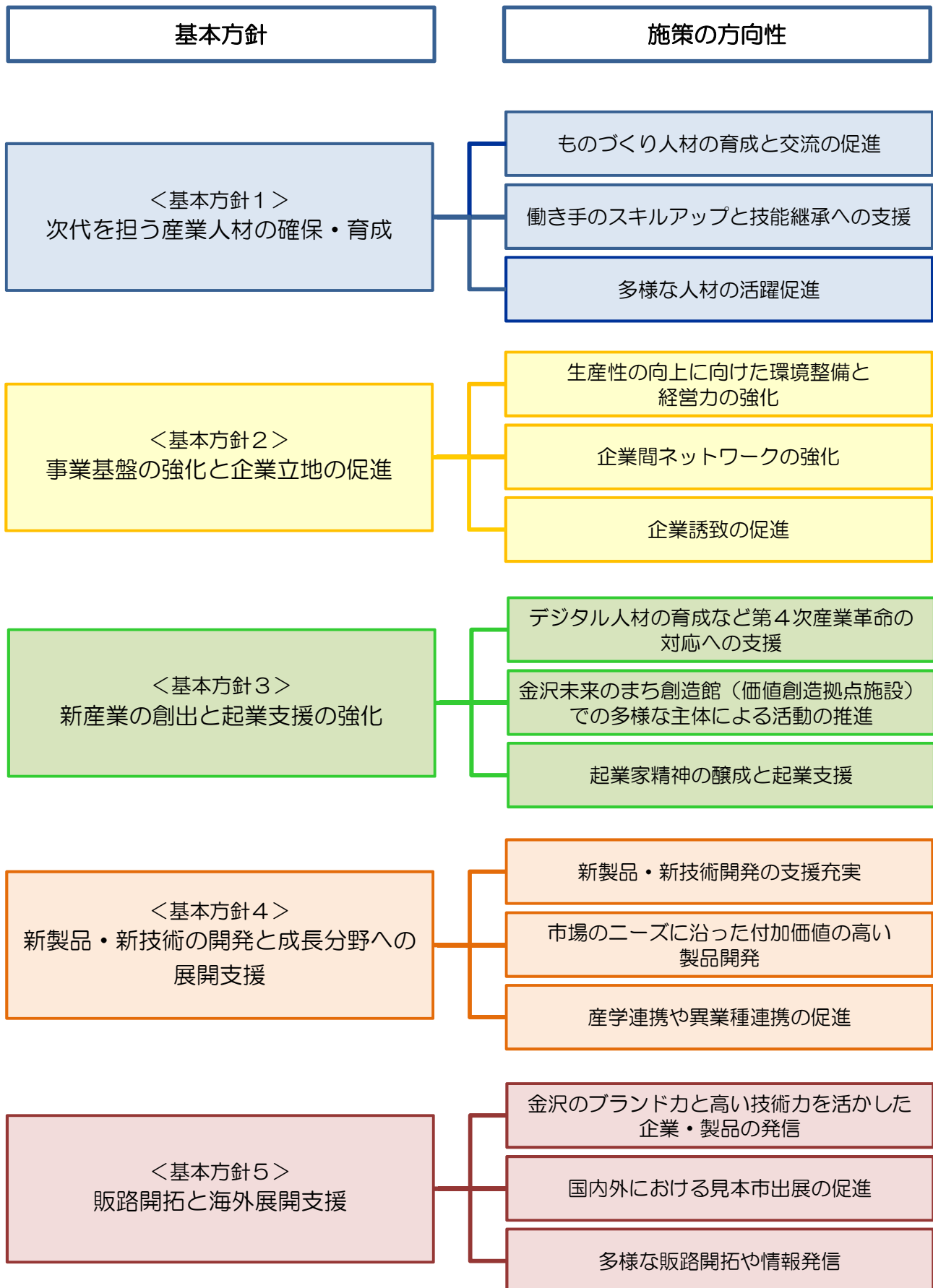
### 施策の方向性2 国内外における見本市出展の促進

市内企業の製品や高い技術力を国内外に広く発信するため、企業による国際見本市への出展を支援し、バイヤーに実際に目で見て触れてもらうことによる直接的なマッチング機会の創出により、販路拡大を促進するとともに、北陸新幹線の延伸など、交通インフラ等の拡充を契機とした販路拡大の取り組みを支援していきます。

### 施策の方向性3 多様な販路開拓や情報発信

ニューノーマルに対応した販路開拓やグローバル化の実現に向けて、オンライン見本市等への出展や情報発信ツールの整備など、企業の取り組みを支援するほか、食文化など、他都市との差別化が図られる本市ものづくりを中心に情報を発信していきます。

## 7 金沢市ものづくり戦略 2015(改訂版) 体系図



将来像

独創性と多様性に富んだものづくり産業の振興による創造産業都市・金沢の実現  
～ 人・モノ・情報の集積・交流による地域経済の活性化を目指して ～

主な具体的施策

次世代ものづくり人材探求心向上事業

金沢子どもおしごと体験

プログラミング教育活動推進事業

UJI ターン人材確保対策事業

ものづくり企業デジタル人材育成支援事業

ものづくり技能継承促進事業

金沢版働き方改革普及啓発プロジェクト推進事業

働きやすい職場環境づくりアドバイザー派遣事業

ものづくり支援コーナーの設置

金沢市異業種研修会館の運営

金沢市ものづくり会館の運営

生産性向上技術導入促進事業

金沢市工業団地連絡協議会研修促進事業

先端産業地域連携事業

企業立地助成金

工業団地の分譲促進

金沢 AI ビレッジ形成促進事業

IT ビジネスプラザ武蔵の運営

金沢未来のまち創造館の運営

スタートアップ・新ビジネス創出事業

子供の独創力育成事業

食の価値創造事業

IT ビジネスプラザ武蔵交流・創造推進事業

若者・女性起業家コミュニティ形成促進事業

新製品開発・改良促進事業

新製品開発ものづくり企業支援事業

産学連携ものづくり技術交流塾開催事業

6次産業化アドバイザー派遣事業

金沢かがやきブランド認定製品開発奨励事業

ニューテキスタイル開発支援事業

金沢産農林水産物商品化推進事業

金沢市産学連携事業運営委員会開催事業

金沢かがやきブランド PR 強化事業

海外販路開拓支援事業

MEX 金沢開催への助成

ビジネス創造フェアいしかわ開催への助成

繊維製品輸出促進支援事業

オンライン商談支援事業

金沢の食文化の継承及び振興事業

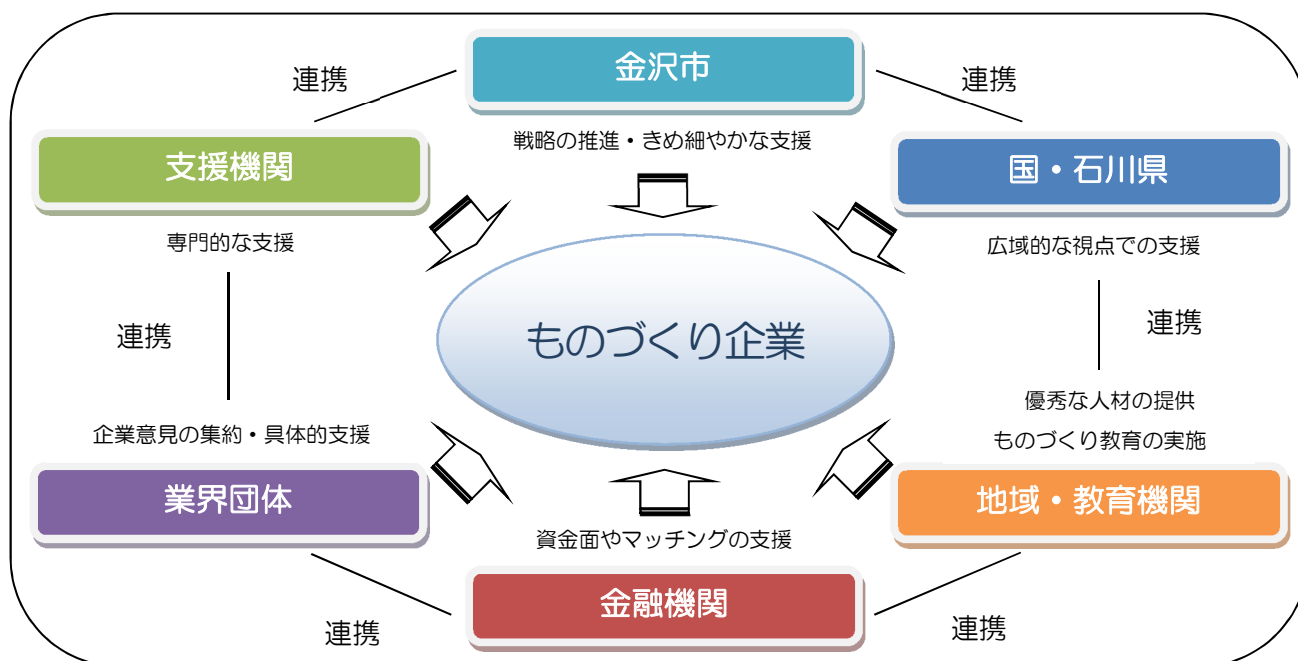
金沢産農産物魅力発信事業

## 8 施策の推進体制

将来像の実現に向けては、本市のみならず、企業・関係機関が、それぞれの責務を果たしながら相互に連携していくことが必要です。今後とも企業を取り巻く環境やニーズの的確な把握に努めるとともに、地域経済を支える企業に対し、国・県や中小企業基盤整備機構などの支援機関、金融機関等とも連携して支援していきます。

また、高等教育機関の集積を活かし、産学連携による新製品開発を促進するほか、学校や地域と連携し、ものづくりの大切さについて理解と関心を深めるとともに、新たな価値の創造に挑戦する機運を醸成していきます。

【推進体制イメージ図】



## 9 進行管理

市と業界団体、支援機関、大学等からなる「金沢市ものづくり戦略推進会議」を設置し、進捗状況の確認と施策の見直し等を検討していきます。

## 10 金沢市ものづくりサポート拠点

金沢市異業種研修会館

〒920-0377 金沢市打木町東 1400 番地  
TEL 076-240-1934 FAX 076-240-1903

金沢市ものづくり会館

〒920-0226 金沢市栗崎町4丁目 80 番地 1  
TEL 076-255-1518 FAX 076-255-1519

ITビジネスプラザ武蔵

〒920-0855 金沢市武蔵町 14 番 31 号  
TEL 076-224-6340 FAX 076-224-8788

お問い合わせ

金沢市経済局商工業振興課

〒920-8577 金沢市広坂 1 丁目 1 番 1 号  
TEL 076-220-2205 FAX 076-260-7191  
E-mail syoukou@city.kanazawa.lg.jp